

青森県立保健大学附属図書館だより

Rapport

15

OCTOBER 2010 NUMBER

特集：先生オススメ **読書** の **秋** にこの一冊 2010

附属図書館長：入江良平「読書のすすめ」

看護学科-瓜田学

大関信子

葛西紗幸

小池祥太郎

佐藤愛

船木淳

山田典子

理学療法学科-岩月宏泰

桜木康広

山下弘二

栄養学科-岩井邦久

清水亮

社会福祉学科-石田賢哉

出雲祐二

杉山克己

西村愛

シリーズ“ 図書館を使いこなそう” 第15回

「リポジトリとは」 「青森県立保健大学リポジトリ A-plus (アプラス) の紹介」




読書のすすめ

青森県立保健大学附属図書館長

入江良平

読書の秋である。私も一応「教育者」の端くれとして、学生諸君にどんどん本を読んでほしいと思っている。そこで巻頭エッセイの要請に応え、読書のすすめを書くことにしよう。

といっても、ここで取り上げるのは学業のための読書ではない。こちらの方は学生の「務め」に属しているのであって、わざわざ「すすめる」ようなことではない。専門的に学ぶとは、ある専門領域で蓄積されてきた共有財産を我が




ものとする営みである。その共有財産は通常本の形で保存されている。学ぶ者は専門の書物を通じて、過去の先人たちの経験を自家薬籠中のものにしようとする。いわば計画打算の読書であり、これを能率的に行うには、教師の指導にしたがって、定評ある教科書あるいは参考図書を系統的に読むのがいちばん手っ取り早い。

それとは別に、私たちはただおもしろいから、興味を惹かれるからという理由でも本を読む。書物の中には、著者の経験、思考、空想などが言語表象に変換された形で保存されている。言語表象の世界は現世の空間的・時間的カテゴリーに制約されない。東京からパリまで、いやアルファケンタウリまででもひとつ飛びである。古代に遡り、未来に旅するのも造作ない。現実の行動はのっぴきならない結果と責任をとるが、ここでは何が起ころうといつでもリセットでき、責任をとらされることもない。読書とはこうした言語表象世界に入り込む経験であり、その「おもしろさ」とは、「脳内」の無辺自在世界に遊ぶことのおもしろさなのだ。実際に行動することと同様、これもまた経験の一形式である。「百聞は一見にしかず」と言われる。だが「一见」の後に残るものは記憶であり、それもまた突き詰めて考えれば表象にすぎない。軽々に両者の優劣を決めることはできなからう。

そういうふうに考えると、読書という形で言語表象世界を逍遥するというのは、なかなか贅沢な楽しみである。何の役に立つか、どういう意味があるか。——そんなことばかり心を煩わせるのは愚かしい。まず第一に、せっかくの楽しみが汚染されてしまう。さらに、老子が言うように、無効用と無意味にも大切な役割がある。効用や意味は人生に秩序を与えるために必要だが、それだけを追求すれば人生そのものが壮大な無意味と化するだろう。経験は私たちが生きる土壌を形成する。そこでは無効用で無意味と見える経験もまた必須である。言語表象世界もまた、感覚的世界とともに、私たちの人生の書き割りを構成する重要な一部であり、ここで読書が果たす役割は大きい。長い目で見れば、目的や意味にとらわれない読書は、人生をより豊かなものにすると言えるだろう。

日本中が忙しくなっている。びっしりと並んだ予定を次々にこなしていくうちに時は過ぎてゆき、ふと気づくと人生の黄昏を迎える。生きることがそんな



感じになってしまった。学生諸君も忙しそうに見える。授業に出席し、予復習をし、サークル活動に参加し、さらにはアルバイトに励む。多忙ウィルスは若者の生をも汚染しつつあるようだ。それでも、計画打算ではない、興味関心に導かれた自由な読書をするには、学生時代こそもっとも適した時期である。それをすぎると漫然たる読書は難しくなる。必要に迫られて読む本ばかりになる。時間だけでなく、気持ちの上でのゆとりが乏しくなるからだ。

さて、このたび図書館では、本学の先生方に「学生のうちに読んでおいてほしい本」を推薦していただき、本号のラポールに掲載した。ぜんぶで35冊の推薦が寄せられた。ごらんの通り、専門関連の図書はむしろ少数派であって、歴史（大河）小説、科学の啓蒙書、エッセイ、人生指南書等々、きわめて多様なジャンルの書物が並んでいる。これらの推薦図書は、自由な読書のための案内になるだろう。自由な読書のための手引きとは矛盾するようだが、これだけ出版物があふれていると、どこから手をつけていいかわからない。これは言語表象世界を逍遥するためのとっかかりとなるだろう。

燈火親しむべし。現世の喧噪から離れ、秋の夜長を一冊の本との対話に沈潜してみてはいかがだろう。

特集：先生オススメ

読書の秋にこの一冊

本に親しむ絶好の季節がやってきました。

ラポールでは、今年も読書の秋に合わせて、各学科の先生からのお勧めの図書を一挙掲載。ぜひ図書館で借りて、秋の夜長、一冊の本との対話に沈潜してみてください。

看護学科

●瓜田学先生おすすめ



『**青女論**
：さかさま恋愛講座』
寺山修司
角川書店
914.6||Te67
(C)角川書店

「少年」に対して「少女」があるように、「青年」に対して「青女」という言葉があって良い。青森出身の劇作家、寺山修司が考える青女論は男目線の女性像ではあり、これが正しいか、読んで心地良いかはその人が判断すること。ただ、女性や男性を決め付ける枠から解放する考えがこの中に詰まっているかもしれない。



『**ブッダ**』
全 12 巻
手塚治虫
潮出版社
726.1||B83||
1～12

これはあくまでも手塚治虫のブッダである。ただ、その考えは常に私たちに疑問を投げかける。「生と苦悩と死」は人が生きていく中で壁となりぶつかることが多いもの。特に医療職者として多くの生死と関わっていく人には、漫画として読みやすい「ブッダ」が死生観を養うきっかけになる。図書館にも置いてある本なので、一読してみてもは。

●大関信子先生おすすめ



『**徳川家康**』
全 26 巻
山岡荘八
講談社
913.6||Y42||
1～26

私は、20 代の時に全 26 巻を読み深く感動した。この本に出会えた深い喜びを感じた。学生さんにもこの感動を体験してもらいたい。DVD や漫画ではなく、講談社文庫の活字を一つ一つ理解しながら、全 26 巻を読んでもらいたい。なぜ、この本を推薦するのか、読めばわかります。韓国や中国でもこのシリーズが翻訳されベストセラーとなっています。今、皆さんと同じ年代の若者たちが徳川家康からその生き方を貪欲に学ぼうとしています。将来、管理職を目指す方は必読です。全巻読まれた方は、ご一報ください。

●葛西紗幸先生おすすめ



『**ママのおなかをえらんできたよ。**』
池川明
リヨン社
376.11||I33

胎内記憶、誕生記憶について池川先生が実際に子どもたちから聞いたことがそのまま本になっています。生まれる前の記憶やママを選んだ理由など、とても心温まる言葉がたくさん出てきます。ぜひ読んでみてください。

●小池祥太郎先生おすすめ



『**ダーリンは外国人**』
小栗左多里
メディアファクトリー
367.4||O26||1

漫画の推薦ですいません。でも、ためになるのですよ！面白い！夫婦のやり取りが主に掲載されているのですが、ほとんどが文化(言語)について。未来のダーリンが外国人になるかもしれない現代において、入門書にピッタリ。続編もあります。



『**ダーリンは外国人 With BABY**』
小栗左多里
メディアファクトリー
367.4||O26

ということで、これも続編の一つ。今回の見所は子育てに関する文化の違い。日本では当たり前とされている子育て文化も外国人ダーリンには通用しないことも！！文化の違いを面白おかしく教えてくれる本です。

●佐藤愛先生おすすめ



『お産と生きる：なぜ、自然なお産か 産科医からのメッセージ』

大野明子著：堀口貞夫
〔ほか述〕：宮崎雅子写真
メディカ出版
495.7||O67

最近読んで、とても感動した本です。周産期医療が発展し、病院施設で出産する人がほとんどである今、「自然なお産」とは何か、なぜ「自然なお産」なのか、を考えたい人にお薦めの本です。

●船木淳先生おすすめ



『フライトナース』

長谷川裕美
メディアファクトリー
492.29||H36

フライトナースとは、ドクターヘリに医師と共に搭乗し救急医療活動を行う看護師を言います。救急隊の要請から約3分で現場に飛び立ち、病院内とは異なった環境で救急医療を展開しなければならず、フライトナースは、いわば救急看護のスペシャリストでもあるといえます。

本作品は、著者自身がフライトナースであり、実践の経験を基にしたフライト活動(初フライト、現場での救急看護、命に対する考え)がリアルに描かれています。一般の方々には中々伝わりにくいフライトナースの看護活動を理解するに相応しい作品です。

私自身、この作品に目を通すたびに「いつかまた空を飛びたい」という想いになります。

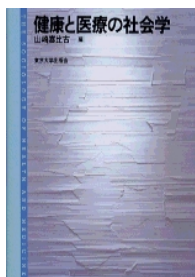


『命をつなげ!ドクターヘリ：日本医科大学千葉北総病院より』

岩貞るみこ
講談社
498||I96

本作品は、ドクターの目線でドクターヘリでの活動が描かれていますが、たった一つのかげがえのない命を救うために多くの人たちが「命を繋いでいる」ということが実感できます。救急医療は時間との戦いであり、ドクターヘリは、その時間にうち勝つための最強の武器であります。ドクターヘリに携わる全ての医療スタッフ(医師、看護師、救急隊、機長、運航管理者など)が、ほんの僅かな可能性にかけて、命を救うために決して諦めることのない姿を本作品から感じ取ってみてください。本文中で、フライトドクターが「命のリレー、バトンを次の走者にわたすことができた。バトンを繋いできた全員に感謝したい」と述べています。皆さんも「救える命を救う」命のリレーの走者としてバトンを引き継いでください。

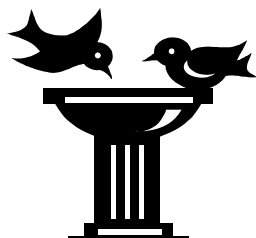
●山田典子先生おすすめ



『健康と医療の社会学』

山崎喜比古編
東京大学出版会
498||Y48

ほぼ10年前に出版された本ですが、今読んでも古さを感じさせません。保健医療福祉に従事するであろう皆さんの視座を広げる書籍の一つです



理学療法学科

●岩月宏泰先生おすすめ



『喜びの泉 :
ターシャ・テュー
ダーと言葉
の花束』

ターシャ・テューダー
著；食野雅子訳
メディアファクトリー
159.8||Tu3

アメリカの絵本作家ターシャ・テューダーの美しい水彩画に作家や詩人の言葉が添えてあり、独特の色調と子供の表情がそれらの言葉の意味を身近に感じさせてくれます。

●桜木康広先生おすすめ



『人が最期に
還るところ :
メイキング・オブ・フジ
テレビ系ドラマ「風のガ
ーデン」：倉本聡が伝
えたかった想い』
フジテレビ編
角川SSコミュニケー
ションズ
778.8||F67

2008年フジテレビ系で放送された連続ドラマ「風のガーデン」のメイキングとして書かれたこの本は、死を目前にした麻酔科医の男が絶縁していた家族のもとへ戻っていく物語を通して“生きること・死ぬること”の意味や“家族愛”を問う人間ドラマの解説本です。出演者の対談や美しい花のガーデン写真は、心が揺さぶられます。また、在宅ケアや終末医療の在り方についても考えさせられます。富良野にまた行きたくなりました。

●山下弘二先生おすすめ



『妊娠中の運
動ハンドブッ
ク』
ジェームズ・クラブ
著；目崎登監訳
大修館書店
495.6||C75

理学療法士も妊産婦の動作分析と運動療法に係わって領域を広げるには良い本です。

●岩井邦久先生おすすめ

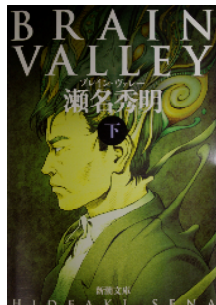


『若き友人た
ちへ』
筑紫哲也
集英社
304||C44

2008年に逝去した著者は、長くNEWS23でキャスターを務めていましたが、本来はジャーナリストです。同時に、早稲田と立命館で教鞭もとっていました。その講義録を基にまとめられた本書では、著者が今後の日本を背負っていく現在の学生に、自分とは何者か、日本とは何かを分かりやすく問いかけています。専門職を問わず、社会へ出て行く前の学生に是非読み、考えてほしい一冊です。

栄養学科

●清水亮先生おすすめ



『Brain valley』
上・下
瀬名秀明
新潮社
913.6||Se59||1~2

「パラサイトイヴ」の著者が、その2年後に出版し、日本SF大賞を授賞した作品。人類はどのようにして英知を持ち得たか。気鋭の学者が集められ、様々な角度からその謎に迫るという内容です。1990年代末の科学技術を詳しく表現しながら、その謎を解き明かす迫力は、科学的に証明する過程の面白さを伝えてくれます。研究が進むにつれて、幽体離脱やエイリアンによる誘拐、そして神の存在へと話は思わぬ方向へ…。

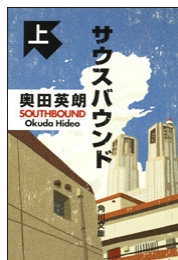


『ココロ』
夏目漱石
新潮社
913.6||N58

物語は、悲痛な過去を背負いながら生きている「先生」と、その「先生」に惹かれる「私」の二人の人物を主軸に展開していきます。「先生」の過去にあった、人間が生きている上で葛藤する嫉妬や裏切り、欺き、信頼、我執という根源的な問題について、考えさせられる一冊です。とても有名な作品で、改めて紹介するまでもないかもしれませんが、個人的にも絶対一度は読んだ方がいい本と思い、お勧めしました。

社会福祉学科

●石田賢哉先生おすすめ



『サウスバウンド』
上・下
奥田英朗
角川書店
913.6||O54||1~2
(C)角川書店



『空飛ぶタイヤ』
上・下
池井戸潤
講談社
913.6||I33||1~2

たまにはこのような作品を読んでリフレッシュするものよいのではないかと思います。

組織は大きくなればそれだけ組織を守ろうとする。そこにいる人の正義はどこに？と思ってしまうですが、その人の心理描写がシンプルに描かれています。また、大きな組織に立ち向かう人のエネルギー、併せて、常に生活の中でトラブルは常に起こり続ける日常的大変さもこの作品から味わうことができます。



『しゃぼん玉』
乃南アサ
新潮社
913.6||N95



『火車』
宮部みゆき
新潮社
913.6||M71



『彼女との上手な別れ方』
岡本貴也
小学館
913.6||O42

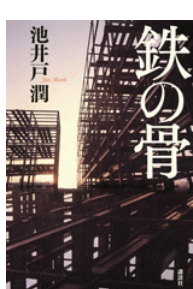
いわゆる「世間のお荷物」「どうしようもない人」といわれる人がどうしてそのようになってしまったのか、どうして自分の人生に希望も何も持たず、周りの人を傷つけながら生きていこうとするのか、その心理状態が見事に描かれています。また、何かがあれば人は変えられる可能性とチャンスがあるということも描かれていて読み応えのある一冊です。

20年近く前の作品ですが全然古くありません。社会的弱者がどうしてずっと弱者なのか、なぜ弱者になってしまうのかを、カード破産、カード地獄をキーワードにストーリーが開かれています。

ロバート・ダウニーJr.主演の映画「愛が微笑む時(Heart and Souls)」(1993年)を思い起こすような内容ですが、今風な主人公(決して善人ではない)が、亡き人たちの想いをお金目当てで成し遂げていきます。途中からストーリーが主人公の心の変化とともに一気に展開していきます。読み応えのある一冊でした。



『赤い指』
東野圭吾
講談社
913.6||H55



『鉄の骨』
池井戸潤
講談社
913.6||I33



『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』
岩崎夏海
ダイヤモンド社
336||I96

子の親への想い、親の子への想いを感じることでできる一冊です。介護や引きこもりなど現代的な社会問題も取り上げられています。

「善か悪か」といった二極論では現実にはなかなか表しきれない。そんな当たり前のことを「談合」をキーワードにリアルに描かれています。

マネジメントを学ぶ上で、とても役に立つ一冊だと思います。ストーリーもしっかりしていてかなり面白かったです。



『社会心理学ショート・ショート：実験でとく心の謎』
岡本浩一
新曜社
361.4||O42



『なぜ、人は動かされるのか(影響力の武器)第2版』
ロバート・B・チャルディーニ著 ; 社会行動研究会訳
誠信書房
361.4||C71

●出雲祐二先生おすすめ



『UNIXへの招待(たのしいUNIX)』

坂本文
アスキー
007.634||Sa32



『不思議宇宙のトムキンス』

ジョージ・ガモフ, ラッセル・スタナード著; 青木薫訳
白揚社
420||G18

進歩が著しいコンピュータソフトの世界にUNIXという世界があります。巨大な売上げを誇るソフト会社がある一方で、「コンピュータソフトは人類共有の財産」と考え、優れたソフトを無料で提供しているUNIXのグループもあります。この本はその世界への入門書です。あなたの使わなくなった古いパソコンにFreeで入手できるUbuntuやFedora, Slackwareをインストールし、この本片手にこの世界を体験してください。

若い人は知的好奇心に満ち、たとえ自分が目指す専門以外の分野でも、その世界を知ろうとすることはとても大切です。この本は現代物理学の入門書ですが、高校の物理の教科書とは違い、とても楽しく読めます。相対性理論から原子核、量子論と主人公のトムキンスとともに不思議な旅に出かけましょう。人によっては入眠書として最適ですが、この本の内容をすべて理解した学生さんは本学に来たことを後悔するでしょう。

●杉山克己先生おすすめ



『弁証法の諸問題 新装版』

武谷三男
勁草書房
404||Ta66

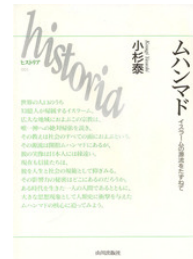
何十年もまえ、他の本の中で紹介されているのを通じて知った。当時は新刊本を手に入れることができず、神田の古書店街で旧字体のものを購入して読んだ。戦時中に特高に捕まったときの調書として著された「技術論」は秀逸だ。戦前より日本では素粒子論の分野が進んでいた。著者はその中心人物の1人だった。彼の「三段階認識論」は一時代を画したと言えるだろう。今年になって新装版が出された。この機会に再読しようと思う。

●杉山克己先生おすすめ



『クルアーン: 語りかけるイスラーム』

小杉森
岩波書店
167.3||Ko89



『ムハンマド: イスラームの源流をたずねて』

小杉森
山川出版社
167.28||Ko89



『オートポイエーシス論入門』

山下和也
ミネルヴァ書房
461||Y44

日本はかつて、朝鮮半島や東シナ海・南西諸島等を通じて大陸文化を学んだ。中国の古典思想は言うに及ばず、仏教など南アジアの思想も。その中には遠く西アジアの思想・文化も含まれていた。しかし、如何せん遠く、そしてここで話題にしてるイスラーム文化が発展した頃には、日本文化も既に独立した道を歩み始めていた。その後、とりわけ幕末以降には西洋文化をどん欲と言っても良いほどのありさまで学んだ。結果、現在のわが国は、世界的に見ても最もイスラームとの接点が少ない国になっている。しかし、イスラームは今後の「世界」を考えるときに無視をできないものの1つである。

イスラームは日本人的感覚の宗教ではない。人生と社会を運営していく指針でもあり、思想でもある。同じ著者による「ムハンマドーイスラームの源流を尋ねて」と合わせて読んで欲しい。イスラームの事が少し分かると思う。

私にはオートポイエーシスを簡単に説明することはできません。元々は1970年代に発案された生物学の理論でした。それをルーマンが社会学に導入し社会システム論としたものです。本学の図書館にもオートポイエーシスに関するものが幾つかありました。現在では、文系・理系を問わず学際的に応用されるもので、他にも心理学や哲学、法学などにも応用されるものです。まだ新しい理論と言えるでしょう。特に、新しもの好きに!?(私もその1人ですが...(^_^))

●西村愛先生おすすめ



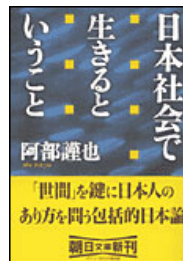
『「おじさん」的思考』

内田樹
晶文社
914.6||U14



『高等学校における特別支援教育の実践』

加藤貴久, 杉岡啓治
あいり出版
378||Ka86



『日本社会で生きるということ』

阿部謹也
朝日新聞社
361.5||A12

私は、内田樹(うちだたつる)さんの大ファン(通称:タツラー)です。内田さんの本は難しいですが、読んでいて体の奥深いところにストンクと入る感覚が好きです。私は内田さんの本のおかげで、研究の視野が広がったような気がします。この本は、難しい内田さんの本の中でも、フリーターや児童虐待、教育、大人になること等、みなさんでも読みやすいテーマが多い本です。みなさんも、ぜひタツラーになってみませんか?

障害のある人となない人たちが共に生きる社会を実現するためには、まず共に学ぶ経験が大切です。この本は、2001年度に大阪府教育委員会が制度化した「知的障害のある生徒の高校の受け入れ」の理論および実践集です。大阪では、義務教育段階における共に学ぶ実践がなされ、高校の制度化に結実しました。高校での仲間づくりや学習、卒業後の課題など、インクルージョンのヒントになるものが、ぎっしりつまった良書です。

この本は、私が大学院生のときに、2人の先生方から薦められた本です。なぜ、日本社会における様々な差別は、なくなるのか?なぜ、生きにくい社会なのか?そのカギとなるのが、「世間」という存在です。福祉先進国の理念が日本に根付かない理由が、この本を読んで納得した記憶があります。福祉や医療の分野で学ぶ人たちに、必ず読んでいただきたい、お薦めの一冊です。



WHAT'S REPOSITORY

リポジトリとは

● 無料で公開されている研究成果の電子書庫

リポジトリ (REPOSITORY) とは、容器、倉庫、貯蔵庫などの意味を持つ英単語で、大学等の学術機関の研究成果・教育資源等を収集し、電子的な形態で蓄積・保存し、インターネットで無料公開する仕組みのことです。

2010年9月の調査では、世界各国で約1,800、日本では約190ものリポジトリが公開されています。その数は今も増え続けていますので、さらに便利になっていくでしょう。

【国別リポジトリ数ランキング 1. アメリカ 2. 日本 3. イギリス 4. ドイツ 5. スペイン】

● インターネットですべて・どこでも・だれでも

リポジトリは、インターネットが使える環境であれば、いつでも、どこでも、だれでも無料で見られます。CiNii (サイニイ) や JAIRO (ジャイロ) といったデータベースのほかに、Google や Yahoo! をはじめとする検索エンジンでも検索することができるので、もしかすると、リポジトリとは気づかずに利用したことがあるかもしれません。



● 著作権について

リポジトリに登録されているものは無料で見られますが、著作権は著者または出版者等が保持しています。著作権法に規定されている研究・教育目的の私的使用や引用などの範囲内で利用しましょう。

青森県立保健大学リポジトリ A-plus の紹介

概要

青森県立保健大学リポジトリ A-plus（アプラス）は、2010年6月15日に正式公開しました。2010年10月現在、472件の論文・ブックレット・報告書が登録されています。今後も、教員・大学院生から提供された論文を、出版者等の許諾の取れたものから順次登録予定です。



青森県立保健大学リポジトリ

<http://a-plus.auhw.ac.jp/>

登録件数内訳



紀要論文・・・455件

（青森県立保健大学紀要、青森県立保健大学雑誌など）



学術雑誌論文・・・4件



ブックレット・リーフレット・・・10件



厚生労働科学研究補助金研究報告書・・・1件



健康科学特別研究報告書・・・2件

愛称の由来：「A」は青森県・青森市（Aomori）、AUHW、りんご（Apple）の頭文字 A で青森に由来している。また、アルファベットの A は始まりであり、リポジトリのスタートを表わす。そこに、これから沢山の学術論文が「plus」されていくことを期待して。



● 検索方法

画面中央の「全文検索」にキーワードを入力してください。

論文タイトル、著者名、掲載誌名など、すべての項目の検索ができます。

複数のキーワードの間に半角スペースを入れると、AND 検索になります。

著者のフルネームで検索するときは、姓と名の間に半角スペースを入れてください。

● 検索結果の見方

「全文検索」にキーワードを入力して検索すると、検索結果は次のように表示されます。

「ファイル」には、本文 PDF ファイルの中に検索キーワードが含まれる論文等が表示されます。

「アイテム」には、タイトルや著者名などの項目に検索キーワードが含まれる論文が表示されます。

タイトルをクリックすると、詳細画面が表示されます。

「アイテム」には、タイトルや著者名などの項目に検索キーワードが含まれる論文が表示されます。

タイトルをクリックすると、詳細画面が表示されます。

Download をクリックすると、PDF ファイルが開いて、本文を読むことができます。

ID	AA11913394-00050001-0139-002
アイテムタイプ	Article
このアイテムを表示する	本文 KJ00004186410.pdf Type : application/pdf Size : 751.0 KB Last updated : Mar 9, 2010 Downloads : 1 Total downloads since Mar 9, 2010 : 1
URI	
タイトル	モダニズム、ポストモダニズム、そして生きる力(子どもの心を育む環境とは、第1回青森県立保健大学学術研究会)
別タイトル	
著者	入江,良平 (Irie,Ryouhei)

Download をクリックすると、PDF ファイルが開いて、本文を読むことができます。

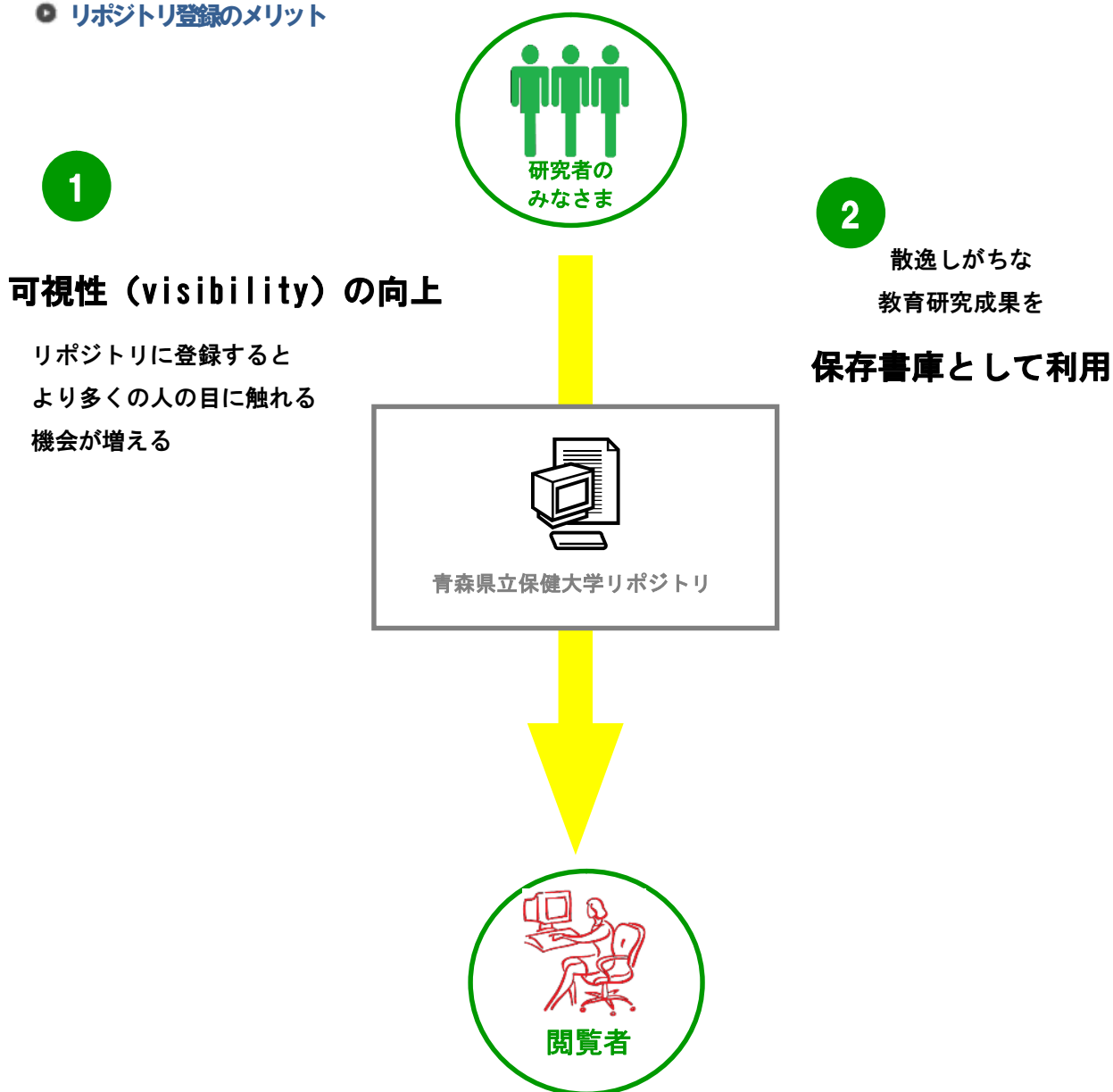
本学教員・大学院生のみなさまへ

ただいま教員のみなさまには、科研費報告書、特別研究費報告書の「登録許諾書兼チェックシート」をメールで送付させていただいておりますので、お手数でも図書館へご返信ください。

また、学術雑誌に掲載された論文やその他研究成果など、提供していただけるものをお持ちの方は、「登録許諾書兼チェックシート」と共に図書館リポジトリ担当 (a-plus@ym.uhw.ac.jp) へお送りください。「登録許諾書兼チェックシート」はリポジトリトップページに掲載しております。なお、青森県立保健大学雑誌と研修科ブックレットは一括許諾済みのため、刊行され次第リポジトリに登録いたします。

ご不明な点がございましたら、図書館までお尋ねください。

● リポジトリ登録のメリット



● リポジトリへの登録手順

世界へ発信

登録作業 (図書館)

JAIROやGoogleなどからも検索できるようになります。

登録許諾書兼
チェックシートのご提出
(教員・大学院生)

著作権確認 (報告書の中に学術出版物に掲載された論文が含まれる場合は、出版者等の許諾状況の確認を行います)。

PDF化やメタデータ作成。

共著者の許諾確認をお願いいたします。

論文等の電子データ (WORDファイルなど) をお持ちの場合は、メールに添付してください。
(a-plus@ym.auhw.ac.jp)

※登録許諾書兼チェックシートは、リポジトリトップページからダウンロードできます。

▶ 論文登録について

運用指針(PDF)
登録許諾書兼チェックシート
(Excel)



オープンアクセスウィーク

● オープンアクセスとは

インターネットを通じて研究成果を無料で公開し、世界の人々が、対価なくこれを享受できるようにすることです。

● オープンアクセスウィークについて

例年行われているオープンアクセスウィーク。今年は、10月18日～24日を中心に世界各国でさまざまな行事が開催されました。本学でも図書館を中心に、スライド上映やポスター・三角スタンドでキャンペーンを行いました。

<デスクに配置した三角スタンド>



<図書館入口で上映したスライド「3分で分かるオープンアクセス」>

青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 第15号

平成22年10月発行

発行者 青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬58-1

電話 017-765-2011

URL <http://www.uhw.ac.jp/140library/index.html>